

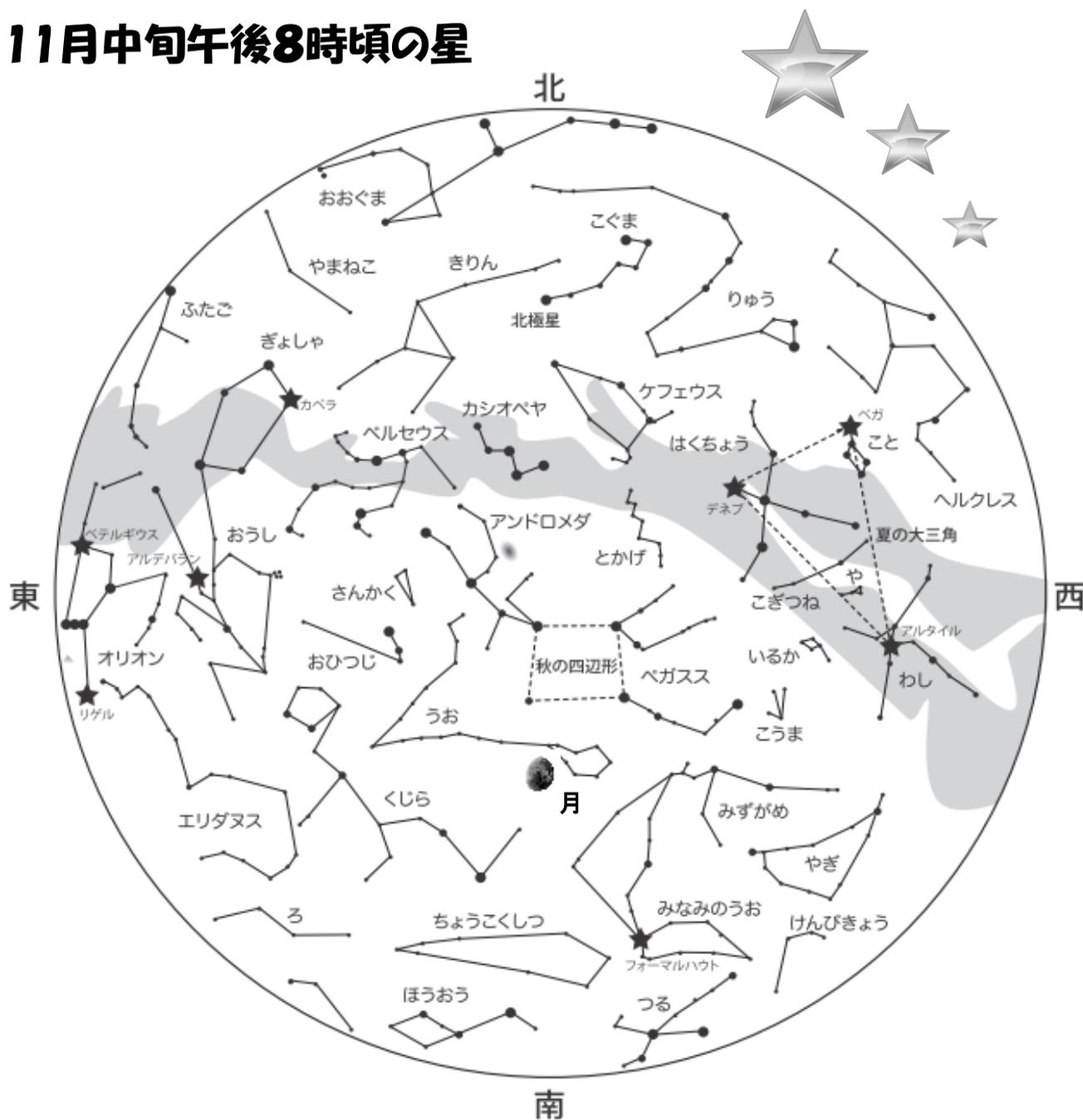
松江市立天文台 ~11月の天文教室~

2013年11月13日

11月になると、日の暮れるのが早くなるのを実感します。
暗くなるのが早いので、西には夏の三角形、真上には秋の四辺形、東からは冬の星座、おうし座やぎよしゃ座など多彩な星々が観られます。。

そして注目はアイソン彗星、今月終わりから来月上旬にかけて、長い尾を引いた美しい姿が見られるのではないかと期待が高まっています。

11月中旬午後8時頃の星



11月中旬の午後8時頃の星空です。月は11月13日の位置を表示していますが、見かけの大きさは実際とは違います。

★月(月齢10)

今日の月は月齢10、星座を観察するには、その明るさがちょっと目障りになるかも(^_^)

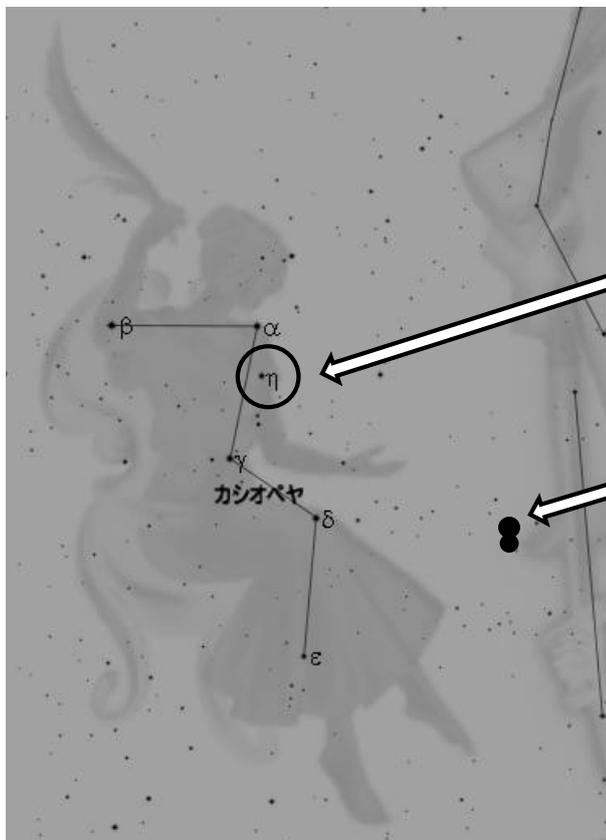
とはいえ、小型の天体望遠鏡でも表面の地形が観察できる天体です。天体が衝突した痕跡のクレーターの地形を楽しんでください。

月は5日後の18日に満月になります。



小型天体望遠鏡で見た月のイメージ
実際に見ると上下左右がさかさまに見えます。

★カシオペヤ座



カシオペヤ座はギリシャ神話に登場する王妃の姿が星座になったものです。こじんまりとした星座ですが、星がアルファベットのMあるいはWの形に並んでいるので、場所さえわかればすぐ見つけることができます。

η(エータ)星

カシオペヤ座のη(エータ)星は、天体望遠鏡で見ると、3.5等と7.5等の星が並んでいます。

星の色の対比がおもしろい二重星です。

二重星団 hχ(エイチ・カイ)

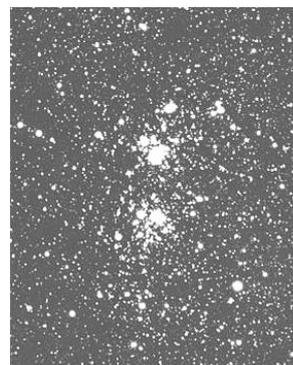
位置は、ペルセウス座に属しますが、カシオペヤ座からの方が見つけやすい散開星団です。

距離7千300光年、それぞれ350、300ほどの星が集まっています。

双眼鏡でも、ふたつの星の集まりが並んでいるのが分かります。

天体の距離などの数値データは主に「天文年鑑」を参考にしています。

天体望遠鏡で見た二重星団のイメージ



アイソン彗星がやってくる！！

大彗星になると期待されているアイソン彗星が、いよいよ明るさを増してきました。

11月の終わりから12月の中旬にかけては、夜明け前の東の地平線で長い尾を見せてくると予想されています。

彗星は肉眼で見えるほど明るくなると予想されていますが、よく見るには双眼鏡が適しています。10倍以下の視野の広い双眼鏡がおすすめです。

次回の天文教室は

12月11日(水) 20時から21時(受付19時30分から)



Matsue Astronomy Club
MAG 松江星の会